

I はじめに

私たちの政治、経済、社会、文化は、今日様々な矛盾と問題を抱え、その限界を克服しようとしています。現在のクロアチア生まれの精神科学者ルドルフ・シュタイナー（Rudolf Steiner, 1861～1925）は、20世紀前半、すでにこれらの諸問題を予見し、目に見える感覚的なものの背後に、目に見えない精神的なものを認識することによって、これらの諸問題に解決の道を開きました。それは誰もが、歩むことのできる認識の道としての《アントロポゾフィー》であり、人間のあらゆる活動分野に拡がっています。

アントロポゾフィー（Anthroposophie）とはアントロポス（人間）とソフィア（神的叡智）からなる「人間の中の神的叡智」であり、広くは「普遍的人間的であること」を意味するものですが、ルドルフ・シュタイナーの1924年の定義によれば、「人間における精神的なものを、宇宙における精神的なものに導こうとする一つの認識の道である」とされています。ここで「精神」とは、滅びゆく「肉体」や、うつろいやすい「魂」とは別の、人間のなかの不滅の本質を指しており、「認識」とは、盲目的な信仰や、ドグマではなく、人間の自己認識に基づくものであります。「道」とは、単なる知識や情報の取得ではなく、体験に基づいた内面の生成を必要とすることを意味しています。

II 普遍アントロポゾフィー協会

アントロポゾフィーは個々人に認識の道を示すのみならず、学問、芸術、教育、医学、農業、社会科学などあらゆる分野の実践を通して、社会に実りをもたらしています。それらの運動母体が普遍アントロポゾフィー協会です。

普遍アントロポゾフィー協会は、1923年のクリスマスにルドルフ・シュタイナーによって設立された「個々の人間および人間社会における魂の生活を、精神界の眞の認識に基づいて育成しようとする人の集まり」であり、眞のエソテリックが最大の社会的公開性と結ばれることにその本質があります。その活動の中心はスイス・ドルナッハにある「ゲーテアヌム、精神科学自由大学」にあり、およそ50カ国の人間のアントロポゾフィー協会によってゲーテアヌムは支えられています。

ルドルフ・シュタイナーは、クリスマス会議において、一つの図を黒板に描いています。（1923年12月27日スケッチ）下に普遍アントロポゾフィー協会と略字で書かれ、その上に精神科学自由大学の第一、第二、第三クラスと書かれ、部門活動は垂直に上方から下方の生活領域、学校、病院、農場等へと降りてきます。



III 精神科学自由大学

精神科学自由大学はアントロポゾフィー協会の中心にあり、アントロポゾフィーに関する事柄の代表者たる意志をもつ大学会員によって担われています。

1992年より、日本でも精神科学自由大学第一クラスの活動（クラッセン・シュトゥンデ）が始まっており、アントロポゾフィー協会の会員として二年以上経過し、アントロポゾフィーの事柄の代表者として活動する意志のある会員であれば、大学への入会を申請することができます。

申請希望の方は、「精神科学自由大学 受入条件」を事務局よりお取り寄せください。

今日、世界中で多くの人が、アントロポゾフィーの精神のもとで活動し、様々な生活分野が生まれています。精神科学自由大学には以下の12部門が設けられ、それぞれの専門領域での研究活動を深めています。

- ・普遍アントロポゾフィー部門
- ・自然科学部門
- ・数学・天文学部門
- ・医学部門
- ・教育部門
- ・朗唱・音楽芸術部門
- ・美学部門
- ・農業部門
- ・青年部門
- ・社会科学部門
- ・造形芸術部門
- ・治療教育と総合的な社会的発展のための部門

IV 一般社団法人 アントロポゾフィー協会

私たちの協会は、精神科学自由大学としてのドルナッハのゲーテアヌムのような機関の存在に意義を認める人であれば、国籍、地位、宗教、学問あるいは芸術的確信の相違にかかわりなく、誰もが会員になることができます。日本の地で活動しようとする人は、当協会もしくはゲーテアヌムに認可されている協会グループを通して普遍アントロポゾフィー協会の会員となります。当協会の会員であるということは、同時に普遍アントロポゾフィー協会の会員であることを意味しています。

東京都新宿区のオイリュトミーハウスを拠点に、日本各地で会員が活動しています。1992年から行われている精神科学自由大学の担い手として協会活動を継続し、2006年の「再建日本アントロポゾフィー協会」、2010年の「一般社団法人普遍アントロポゾフィー協会-邦域協会日本」を経て、2023年「一般社団法人アントロポゾフィー協会」と改称して今日に至ります。精神科学自由大学第一クラスの開講（東京・オイリュトミーハウス／横浜・鶴見）をはじめ、季節の祝祭、アントロポゾフィー基礎講座、専門講座、芸術講座などを開催しています。また、会報「アントロポゾフィア」を隔月で刊行しています。

会員に限らず、アントロポゾフィーに関心を寄せる誰もが、当協会の多くの催しに参加することができます。当協会は精神科学自由大学の担い手としての普遍アントロポゾフィー協会と、学校や病院、農場等の生活領域によるアントロポゾフィー運動が一体となる理想に向かって歩みを続けています。

V 一般社団法人 アントロポゾフィー協会の構成

精神科学自由大学：普遍部門、造形芸術部門、音楽朗唱部門
総会／理事会／監事／運営会／事務局

VI 入会の手続き

小冊子「普遍アントロポゾフィー協会」を熟読の上、巻末の入会申込書（欧文、和文）に必要事項を記入し、事務局宛にお送りください。

小冊子「普遍アントロポゾフィー協会」をご希望の方は、500円分の切手を同封の上、事務局まで郵便でご請求ください。

VII 会 費

本協会の運営は、会費によって賄われています。会費は以下の

1) と 2) からなります。

1) 普遍協会会費* 年額 20,900 円 (125CHF、為替変動を考慮)

* 2025 年度（納入時期、分納のご相談に応じます。）

* スイスの普遍アントロポゾフィー協会に全額送金されます。

振込先

郵便振替口座：00150-5-761210

口座名義：一般社団法人アントロポゾフィー協会

2) 協会会費 年額 12,000 円

振込先

郵便振替口座：00140-3-483075

口座名義：一般社団法人アントロポゾフィー協会

VIII 事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-10-2-102

オイリュトミーハウス内

Tel/Fax 047-336-4178 & Fax 03-5273-2591

E-mail: country.society.japan@gmail.com

<http://www.anthroposophische-gesellschaft-japan.org>

(当協会の最新情報は上記 URL から HP をご覧ください。)

(2025年10月1日改訂)



一般社団法人
アントロポゾフィー協会